

歴史を今に伝えて

114

鴨田八幡神社本殿（鴨田）

「新編武蔵風土記稿」による

と鴨田八幡神社は、長禄二年（二四五八）、太田道真が河越城の鬼門に当たる方角から来る災難などを避けるために造ったといわれていますが、定かではありません。鴨田村の鎮守として親しまれ、明治維新のころまでは一乗院が別当を務めました。

本殿は大型の一間社流造で、屋根はこけらぶき・千鳥破風・軒唐破風を付けています。身舎の組物は尾垂木付（一手先で、その間に臺股をおき、小壁と板支輪に花木の彫刻を飾っています。身舎とひさは海老虹梁は簡単な渦の線彫を施しているだけですが、対照的に手挟みは手の込んだ花木の籠彫が施されています。ほかにも脇障子に花鳥、扉左右の脇壁に昇竜・降竜の彫刻を飾り、縁の下の小壁一面に波頭と花鳥の彫刻を飾っています。



鴨田八幡神社本殿



本殿縁の下にある彫刻

鴨田八幡神社本殿にある彫刻は、動物・植物・波紋などが主で人物の例はなく、物語性もありません。

このような点を考慮すると、江戸時代末期に川越で流行した江戸彫を多用する他の神社の本殿と、鴨田八幡神社本殿は一線を画し、それらに先行するものと思われる。史料的な裏付けを欠いていますが、十八世紀後期の造営と考えられます。

TV わが街川越 番組ガイド

編集後記

どんぐり

暑かった夏も終わり、私の好きな秋が到来。秋といえば食欲の秋、ぶどう・梨・柿とおいしい果物がめじろ押しで、ダイエットをしようと考えていたことなどつい忘れて、旬の味覚を満喫しています▶秋はまた、観光するのにいい季節でもあります。現在、市と小江戸川越観光協会は連携して、年間観光客1,000万人の実現に向けて取り組んでいます。その一環として、9月2日に高野之夫豊島区長と齊木勝好同区観光協会会長が舟橋市長を訪問し、小江戸川越観光協会と同区観光協会が、お互いの魅力向上を目的とした観光交流について協力し合うことになりました。今後は、両自治体で開催される各種イベントなどの際に交流を図り、両自治体のイメージアップにつなげていきます▶10月1日(土)・2日(日)に「ふくろ祭り」が池袋駅西口周辺で開催されます。私も新たな交流を楽しみに、行って来ます。



さつまいも収穫の様子（城下町）

川越でサツマイモを食べよう！
ことは日本にサツマイモが伝来して四百年目。「ふるさとの味伝承士」が、家庭でもできる簡単なサツマイモ料理を三品作ります。市内で販売している、サツマイモの加工品についても紹介します。

テレビ埼玉（38ch） 毎月第1・第3土曜日とその翌日の日曜日に放映

10月1日(土)／午前9時30分～9時40分

10月2日(日)／午後5時30分～5時40分

川越ケーブルテレビ（15ch）

10月1日(土)～14日(金)

午前9時20分～・午後0時45分～・午後4時20分～・午後5時45分～・

午後8時45分～（金～日曜日）・午後10時50分～（月～木曜日）

テコケーブルテレビ（9ch）

10月24日(月)～30日(日)

午前6時30分～・午後0時30分～・午後4時30分～・午後7時30分～・午後9時30分～

*変更になることがあります。あらかじめご了承ください。